



和田の世帯数・人口

世帯数	1,507戸
人口	4,095人
男	1,998人
女	2,097人

(令和6年. 1.1現在)

2024 謹賀新年



市長 井野根 栄雄

謹んで初春のお喜びを申し上げます。

和田地区住民の皆様には、日頃より和田地区町会事業の活動に、ご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。そして本年もそれぞれの方々のご多幸をお祈り申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は感染対策5類となりましたが未だ感染し体調を崩している方がおり、継続した感染対策が不可欠です。願わくばマスクなしで会話が出来ることを希望したいものです。

昨年は公民館事業ともどもコロナ感染対策により取りやめていた事業も復

活させ、少しずつでも活気が戻って来ている様に感じています。引き続き更なる活気を取り戻したいものです。

松本市の35地区の町会連合会では、町会役員の高齢化や担い手不足はどの地区でも共通の課題になっていきます。また、今まで行われていた伝統行事なども省略されつつあります。どうぞ役員になった方々は多面にわたり苦労されますが、若い世代への思い出、また弱者への救いの手としてご尽力をお願い申し上げます。本年も住民の皆様にご協力添った町会連合会としていきます。どうぞ住民の皆様もご協力の程、宜しくお願ひ申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。

新年明けましておめでとございます。皆様方にお

かれましては、良き年をお迎えのこととお慶び申しあげます。また日頃より町内公民館事業にご理解ご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、昨年は5月から新型コロナウイルスが5類に移行し、公民館事業も例年の状態に戻りつつあります。

春のウォークラリーで始まった行事も盛況のうちに実施できました。また、昨年度全戸アンケートにより運動会等のスポーツ大会の見直しを行い、町会対抗の要素も残しつつ多数の方が参加できる自由種目も取り入れ、和田地区健康・スポーツのつどいとしてスタートしました。高齢化もあり、対抗種目への参加がむずかしい町会もありましたが大勢の方々に参加していただきました。和田地区芸術文化祭も昨年よりパワーアップし盛況のうちに開催できました。今年も色々改善し

つと和田地区の皆様との交流が更に深まっていく事を祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。



町内公民館長 会 会 長 窪田 敏郎

館報編集委員・図書視聴委員の合同視察研修に参加して

図書視聴委員と館報編集委員合同の視察研修旅行が11月に行われ、14名が参加しました。行き先は晩秋の北信濃です。

霧に包まれた黒姫童話館は『モモ』で知られたミヒヤエル・エンデの常設展示館で、他にも松谷みよ子をはじめとして、自分が小学生的頃読んだ覚えのある本が何冊もあり、懐かしい空間でした。野尻湖畔でお

紅茶講座に参加して

11月25日(土) 和田公民館で紅茶の講座が開催されました。講師はティーンストラクターの徳武葉子さん(西原)で、最初に紅茶について「11月1日は紅茶の日、世界三大茶葉といわれるウバ・ダージリン・キーマがあります」と説明していただき、ミルクティーを作

りました。ミルクティーは沸騰した湯に茶葉と低温殺菌牛乳を入れ沸騰直前で火を止め出来上がり。タピオカミルクティーは前述の作り方で2倍の濃さで作ります。どちらも紅茶の香りがしっかりし美味しかったです。紅茶を飲んでホッとひと息。楽しい時間を過ごしました。

蕎麦をいただき、ナウマンゾウ博物館を見学しました。野尻湖の発掘は現在二十三次まで続いているようですが、第六次と七次発掘に50年前は高校生であった兄が参加していたことが記憶にあり、これも懐かしい時間となりました。

その後、飯山の高橋まゆみ人形館でまさに癒やしの時間を過ごしました。特に認知症の母とその膝元で眠る娘の人形が印象深く見入っていました。とにかく人形の表情が豊かなのです。最後は豊田道の駅で買い物を楽しみ帰路につき

館報編集委員 衣外町会 加々美

第51回 和田地区芸術文化祭を盛大に開催!!

11月5日(日) 第51回

和田地区芸術文化祭が、和田公民館と福祉ひろ場を会場に開催されました。コロナ前の段階に戻すべく、実行委員の皆さんは8月より準備を始められたそう、その成果の現れた盛り沢山の文化祭となりました。

展示作品の内容は、手芸・絵画・陶芸・書道・写真・盆栽・生花・瓢箪ランプ等多岐にわたり、和田地区の皆さんの力作が所狭しと飾られていました。どのようにしたらこんな素

敵な写真が撮れるのかとか、こんなきれいな盆栽はどう仕立てるのか等、ひとつひとつ本当に興味深く見学させていただきました。

ステージ発表の方は、秋晴れの空の下、芝沢小学校金管バンドの元気一杯の演奏でスタートしました。会場を大会議室に移し、開

会式をはさんで、銭太鼓、ハーモニカ、カラオケの発表があり、続いて高綱中学校吹奏楽部は外にて、振り付けのある躍動感あふれるプログラムを演奏して

くれました。その後はまた室内に戻り、合唱の数々が披露され、最後に色鮮やかな衣装のハワイアンフラダンスの発表で幕を閉じました。

プログラムが終わる度に大きな拍手が送られ、発表者も客席も笑顔あふれるあたたかい文化祭となりました。

ただ、会の中には、会員の人数不足を心配されている所もあり、新たな取り組みが今後必要になってくるのかも

館報編集委員 殿町会 菊池



オープニングは芝沢小金管バンドの演奏で文化祭開始



大地讃頌を歌う会の皆さんによる混声二部・四部合唱



農村女性協議会及びJA女性部による生け花で会場は華やかに



見事に仕立てられた盆栽。日々の管理のご苦労がうかがえます。



この時期にあった絵画作品をたくさん出品していただきました。



今年も素晴らしい写真をたくさん出品していただきました。



手芸サークル、児童センターの皆さんの手の込んだ作品



オヒアレファの皆さんによる優雅なフラダンス



高綱中吹奏楽部の皆さんにも文化祭を盛り上げていただきました。

雪だるま



冬の寒さが一層厳しい頃となりました。この時期になると毎日天気予報とにらめっこして雪の予報にドキドキしながら雪かきが苦痛である私は積もりませんよう願う日々を過ごしています。子供の頃は今はとは違い雪が降れば大喜びして雪だるまを作っていたものです。頭の上にバケツを乗せ、木の枝や石などで顔や手をついたり懐かしく思い出されます。春を待ちわびつつ体調に気を付けお過ごしください。

館報編集委員 蘇我町会 永田